



<白水小学校の教育目標> 『自立 貢献 挑戦』

～「自分は何ができるのか」を考え実行することができる子どもの育成～

宿題（共通・自由課題）が変わります
～自分で決めて挑戦～

明日で前期前半が終了し、35日間の夏休みに入ります。夏休みには、自主的に学習する力をつけてほしいと思っています。そのため、みんなで同じ課題をする宿題と自分がしてみたいことに挑戦する自由課題があります。自分が興味があり調べてみたいこと、これまであまりやったことのない学習などに挑戦してほしいと思います。タブレットドリルを使用すると、上学年の学習や下学年の学習をすることもできます。ぜひ、子どもたちが自分でやりたいことを決めて挑戦させてください。不明な点がありましたら、お尋ねください。

WBC（西中ブロックコミュニティ）のテーマ
「自分からあいさつができる子どもの育成」

WBC学校運営協議会では、毎年共通のテーマを決め取組を行っています。これを受け、本校ではテーマを「相手の目を見て、自分から笑顔であいさつをしよう」に決定し、児童の運営委員会に協力を依頼しました。子どもたちは、このテーマにどのように取り組むかを考えてくれています。教職員も子どもたちの取組を支援するとともに、まずは率先垂範して手本を示すとともに、「あいさつの大切さ」を伝えようと考えています。ご家庭でも、あいさつについてお話をさせていただき、取り組んでいただけると幸いです。

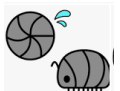


素敵なあいさつができる1・2年生

先日、学年お話を会を実施しました。お話会があった日の下校時、1・2年生の子どもたちは、お話会で絵本を読んでもらった坂上さん（地域Co）を見つけ、自分たちから「ありがとうございました」とあいさつをしたそうです。坂上さんから「うれしかった」と笑顔で報告を受けました。あいさつで、みんなを笑顔にできる素敵な1・2年生。これからも素直に成長してほしいです。



朝の校門で



朝、校門に立っていると、子どもたちは落とし物を届けたり、四葉を見せたり、様々な話をしたりしてくれます。ダンゴ虫にはおとなしいダンゴ虫がいること、ノートを買うお金入れをお気に入りの折り紙で作ったこと、水泳が雨で中止になり2回しかできていない、天気にも恵まれないなど、思っていることを伝えてくれます。朝の出会い、この時間を大切にしたいと思います。

はなまる先生



学習参観・懇談



学習参観・懇談へのご参加ありがとうございました。7月は「同和問題啓発強化月間」となっています。人権学習や懇談での内容について、ご家庭でお話をいただければと思います。

子どもの成長～発達・学習と睡眠～

久留米大学学長の内村直哉氏によると、日本の子どもたちの睡眠時間は、欧米諸国と比較すると最も短いそうです。睡眠時間が不足すると、子どもの行動や発達に影響が出ます。また、睡眠は学習（成績）や体力にも影響します。具体的には、前頭前野の活性が低下する。記憶、認知機能（学習）、やる気、集中力が低下する。行動：感情のコントロールができにくいなどです。学習では、国語と算数のテスト結果でも、8時間以上の睡眠の子どもは、5～7時間睡眠の子どもより成績がよかったというデータが出ています。持久力でも同様の結果（6～11歳）が出ています。

夏休み中、子どもたちが規則正しい生活を送り、楽しく充実した夏休みを過ごせるよう、ご支援よろしく申し上げます。内村直哉氏の「子育て講演会」より一部抜粋

子どもが夜ぐっすり眠るための生活リズム10か条

- 1 朝一定の時間に早起し、光を浴びる
- 2 朝食を規則正しくとる
- 3 外で元気に遊ぶ（活動量を増やす）
- 4 昼寝は30分～2時間。午後3時頃までにすませる
- 5 夕食は規則正しく入床2～3時間前にはすませる
- 6 TVやゲームは入床1時間前にはしない
- 7 入浴は入床1～2時間前に行く
- 8 夜はコンビニなど明るいところには外出しない
- 9 寝室は暗くする（入床30分前から部屋を暗くする）
- 10 入床は規則正しく 21～22時までには入眠し、以下の睡眠時間を確保する

就学前 10時間以上 小学生 8～9時間

保護者・地域の皆様へ

前期前半を無事終えることができました。登下校の見守り、様々な活動へのご支援をいただきありがとうございました。夏休み中もラジオ体操、夏祭り等でお世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。